

**【MedTec Forum】 医療科学をみんなで盛り上げよう！****医療科学 同窓会設立準備委員 中川 智 貴 (1回生)****【同窓会活動開始】**

まだ入学したのが昨日のように思えるのですが、早いものでもう卒業ということ意識する時期になってきました。この大学生活は社会にでる一歩前ということであるような変化を感じることが出来た4年間であったと感じています。それもこの時期をともにできた同志の存在がとても大きかったからではないでしょうか。楽しいこと、嬉しいことはもちろんですが、どんなに辛くてくじけそうになった時でも同志と声を掛け合い、ここまでやってこれることができました。また同じ道を志し、その最終点をめざしお互いに競い合うことが、自然と自分を前へ前へと動かしてくれました。それは同期という横の繋がりだけでなく、先生方や後輩達との縦の繋がりにも言えることで、その両方が自分をここまで成長させてくれたと言っても過言ではないと思います。このようにして培った繋がりということもあり、これから先もこれは途絶えさせたくないと考え、同窓会設立に動き出しました。

**【同窓会設立進行状況】**

現在の同窓会設立に関して進行状況をお伝えしたいと思います。現在は医療科学類 1 期生(現 4 年)が中心となって月に一回みんなで集まり、同窓会設立のため意見を出し合ったり、医学類の同窓会である『桐医会』の定期集会に足を運んだりしてアドバイスをいただいたりして、来年の3月に卒業と同時に同窓会が動き出すことが出来るよう活動しています。現在中心にやっていることは、同窓会の名称決め、名簿の作成、同窓会の口座作りです。その中で、同窓会の名称はこれから運営していく上でとても重要となりますし、思った以上に時間がかかっています。この名称を聞くと同窓会の存在はもちろんですが、大学生活をともに頑張った友の顔が浮かんでくるような名称をつけようとみんなで意見を出し合ったり、アンケートを作ったりしています。現在はまだ決まっていませんが、決まり次第また報告したいと思います。手探り状態ですが、上にあげたことを中心にいろいろなことを行っています。同窓会を設立することは大変なことではありますが、今の自分達の頑張りがかつからの同窓会の姿として残ることが何にも変えることのできないやりがいとな

っています。

**【理想とする医療科学類の同窓会の姿】**

同窓会を設立する上で一番に考えたいことは、上述したように『繋がり』ということです。この大学生活で多くの人と関わることがあると思います。これからの生活する中で、その中で横の繋がりはもちろんですが、縦の繋がりもとても重要になってくると思います。それはただ学年が一つ二つ違うだけでなく、学生と同窓生という縦の繋がりもあります。

この医療科学類は将来進む方向が大きく分けると二つあります。それは臨床検査技師として『臨床』の方向と、研究者として『基礎』の方向です。一方に動き始めるとその方面に偏った情報になりがちです。両方の情報が同時に得られるというのは、とても魅力的だと思います。また基礎研究の情報を臨床に活かせるだろうし、その逆も同じことが言えると思います。このような繋がりを作ることでできる場を提供できたらと思っています。そしてこのネットワークを利用して、医療科学類がより活気のある学類になればと思っています。

**【一緒に同窓会を作っていきますか？】**

ここで一つお願いがあります。この同窓会を運営するにあたって非常に大切なものは学生委員の存在です。卒業して社会人として生活を始めると時間に余裕がなくなることは避けられない事実です。現在は私達を中心となって同窓会を運営しているわけですが、卒業後このメンバーがすべて同窓会の本部のある大学の近くにいるというわけではありません。そこで運営を行っていく上でどうしても学生の力が必要となります。この同窓会は私達の卒業と同時に形として動き出すこととなりますが、その時点で同窓会として完成しているわけではありません。設立1年目ということもありますが、この同窓会はこれからも常に成長し続けたいと考えています。確かに私達が設立・運営する上で今土台を作っています。しかし、それは未完成な土台であり、これから何年何十年をかけて土台自体も作り上げて、その土台の上にその時代のニーズにあったものを付加していかなければなりません。このようにして限界を作

らず、常に成長し続けることで同窓会を活気のあるものにしたいと考えています。同窓会委員として私達と一緒に同窓会を作っていきませんか？大変なこともあるかと思いますが、それ以上に得るものも多いと思います。1、2、3年生より同窓会委員を募集したいと思います。各学年2人以上5人以内です。9月2日に定期集会を行いますので、そこから一緒に活動しましょう